

第2回

## 多分野活動領域でつながるための交流学習会

あなたにもできる！暴力防止のためのグローバルな社会貢献

# 暴力防止のいろいろな試み

ドメスティック・バイオレンス(DV)や虐待、人身取引などの暴力は、グローバルな社会問題です。多分野とつながり、暴力防止のアイデアを出し、次世代を担う若者と共有し、支援の輪を広げましょう。

2017年12月19日(火) 16:00~18:30

会場:衆議院第一議員会館 地下 第一会議室  
(東京都千代田区永田町2-2-1)



### 「社会福祉におけるイギリスの 最新情報と日本の課題」

パネリスト:猪飼 周平氏  
(一橋大学大学院 社会学研究科教授)



### 「スウェーデンの暴力防止の取り組み・ 男性のための危機センター」

パネリスト:伊藤 公雄氏  
(ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン共同代表、  
京都大学名誉教授、京都産業大学客員教授 )



ファシリテーター:西田 陽光氏  
(一社)次世代社会研究機構代表理事)

対象:暴力防止に関心のある方、学生、DV被害支援者など  
資料代:1,000円(学割あり)

パネリストのスピーチのあと、参加者とのディスカッションがあります。暴力防止のアイデアを一緒に考え、アクションを起こしましょう！

お問合せ・お申込み先:一般社団法人ウエルク 事務局 (担当/渡辺)

[kensyu@werc-women.org](mailto:kensyu@werc-women.org) / 080-4599-9565

主催:一般社団法人ウエルク 共催:一般社団法人次世代社会研究機構

# パネリスト プロフィール

## 猪飼 周平氏 (一橋大学大学院 社会学研究科教授)

1971年京都府生。東京大学経済学部卒業、同大学院博士課程修了(経済学博士)。2001年佐賀大学経済学部専任講師、同助教授を経て、2007年より一橋大学大学院社会学研究科准教授、2013年より現職。専門はヘルスケア政策・社会政策・社会福祉・比較医療史。

### ■近年の業績

『病院の世紀の理論』(有斐閣、2010年)

「制度の狭間」から社会福祉学の焦点へ：岡村理論の再検討を突破口として『社会福祉研究』通巻122号, pp.29-38, 鉄道弘済会(2015年4月)

「ケアの社会政策への理論的前提」『社会保障研究』1巻1号, pp. 38-56, 2016年

## 伊藤 公雄氏 (一社) ホワイトリボンキャンペーンジャパン共同代表/京都大学名誉教授ほか)

1951年生。京都大学文学部卒業、同大学院博士課程学修退学。イタリア政府給費留学生としてミラノ大学政治学部留学。神戸市外国語大学外国語学部助教授、大阪大学人間科学部助教授・教授、京都大学文学研究科・文学部教授を経て、2017年より、京都大学名誉教授・大阪大学名誉教授京都産業大学客員教授。

内閣府男女共同参画会議専門調査会委員(基本問題・計画、女性に対する暴力などの専門調査委員)、同男女共同参画の将来像検討会座長代理、国連人口基金東京事務所アドバイザー・コミッティ委員、など数々の役職を歴任。現在、日本学術会議会員、独立行政法人国立女性教育会館監事、日本イタリア会館常務理事、京都府・大阪府・滋賀県の男女共同参画審議会会長、(一社)ホワイトリボンキャンペーンジャパン共同代表などをつとめる。

### ■著書

『男女共同参画』が問いかけるもの『男性学入門』『ジェンダーの社会学』『「男らしさ」という神話』など  
共著：『女性学・男性学』『男性の非暴力宣言』『国家がなぜ家族に干渉するのか』など

## ファシリテーター

## 西田 陽光氏 (一社) 次世代社会研究機構 代表理事)

1997 ~ 2013 年 政策シンクタンク運営委員として、医療提言・教育提言等数々の政策提言と世論形成。日本初の「男性のWLB」提唱により、イクメンブーム牽引。

1998 ~ 2017 年 大学生の政策研究による人材育成。

2014~現在 「女性のリベラルアーツ講座」「子育て知事同盟企画」等多数の子育て女性支援企画  
さいたま市中小企業支援 CSR 委員。

児童福祉法改正世論形成と法改正により、「子どもの権利」を法律化。



あなたにもできる！  
暴力防止のためのグローバルな社会貢献 第1弾  
シンポジウムのレポートは、WERC HPまでどうぞ  
<http://www.werc-women.org/network/>